



## 第59回卒業証書授与式にあたって

校長 中村 邦彦

*As you grow older you will discover that you have two hands,  
one for helping yourself, the other for helping others.*

本日、伏見中学校を卒業する205名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの3年間の中学校生活における、それぞれの努力に対して、心から敬意を表します。

この2月から3月にかけては、本来であれば卒業に向けて最後の学習のまとめをしたり、共に過ごした仲間と大切な思い出をはぐくむ時期です。それが、新型コロナ・ウィルス拡散防止対策のために学校が休校となり、友人や先生との交流が叶わなくなっていました。随分と残念で、悲しくて、不安な日々を送ったことでしょう。しかし、皆さんは、何よりも大切な命を守るためと前向きにとらえ、自分を見失うことなく過ごし、卒業式を迎えました。どんな状況下でも理性的に振舞えることこそが伏見中学生らしさと改めて感心しました。

そんな皆さんだからこそ、冒頭の言葉を贈ります。

「(日本語訳) 大人になるにつれて、2つの手があることに気付く。1つは自分自身のため、もう1つは他人を助けるためだ。」

これは、アメリカの詩人・サム・レヴェンソンの詩ですが、「ローマの休日」で有名なオードリー・ヘプバーンが最も愛した詩として知られています。オードリーは、後半生のほとんどをユニセフでの恵まれない人を援助する仕事に捧げました。そんな彼女だからこそ、この言葉が心に刺さったのでしょう。この詩の前段部分には、このような言葉があります。

「物は壊れば復元できませんが、人は転べば立ち上がり、失敗すればやり直し、挫折すれば再起し、間違えれば矯正し、何度でもやり直すことができます。

だから、決して誰も見捨ててはいけません。

そして、人生に迷い、助けて欲しいと思うときには、いつもあなたの手のちょっと先に助けてくれる手がさしのべられていることを、忘れないで下さい。」

皆さんの目の前には輝く未来が待ち受けています。その充実した日々を、自分もてる力を、他人のためにも使ってください。そうすれば皆さんの人生はもっと素晴らしくなります。

もし、うまくいかないときがあっても、きっと大丈夫。手を伸ばせば、その手を握り締められる人が必ずいるのです。だから失敗を恐れず、勇気をもって、新しい世界に飛び込んでください。後悔のない、充実した人生を過ごされることを願っています。

末筆となりましたが、卒業生の保護者の皆様に、心よりお祝いとお礼の言葉を申し上げたいと思います。これまで、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことを心よりお礼申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



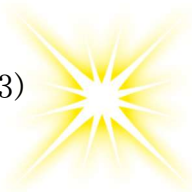
## 【部活動のコンクール等の結果について】



上位入賞を果たした部の記録をお知らせします。

### ○美術部

全日本学生美術展 特選 浅野結愛(1-4)  
佳作 田中碧(3-3) 野替瑞葉(3-5) 伊藤奏南(2-1)  
清水頭和奏(2-4) 上井涼風(2-5) 高森永奈(1-3)  
第34回 全道中学生の税をテーマとしたポスター募集  
北海道教育委員会教育長賞 光吉有咲(2-1)



## ～今後の進路予定～

- 3月17日(火) 公立高校合格発表 10:00～  
最終意思確認(時差登校)
- 3月18日(水) 公立高校追加合格  
有朋高校「単位制」願書受付締切
- 3月19日(木) 公立高校2次募集人員の発表  
有朋高校「通信制」願書受付締切
- 3月23日(月) 公立高校2次募集願書受付開始
- 3月24日(火) 公立高校2次募集願書締切



なお3月31日までは伏見中学校の生徒ですので、来校する際は標準服で登校してください。  
4月以降伏見中学校に来るときは必ず事前に連絡を入れてから登校してください。

## 【校内装飾】1・2年生が卒業生へ感謝の気持ちを込めて制作しました。



※ 新型コロナ・ウィルス拡散防止対策による休校のため、最後の取り付け作業は、先生方で行いました。